

12月24日(木曜日)「いのちの光」

【新改訳 2017】

ヨハネ 1・1-5

「初めに、ことばがあった。……ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。……この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。」(1-4 節)

きょうはクリスマス・イブです。多くの教会では、夜、イブ(前夜)集会が行われるでしょう。ぜひ教会へお出かけください。

この聖句で、実は、「ことば」は神の御子、イエス・キリストを意味しています。ですから、「ことば」と「この方」に、「イエス」が「キリスト」を入れ替えて読むとよくわかります。最後の部分は、「キリストにいのちがあった。このいのちは人の光であった」となります。

白血病の中学生の少女が、入院中の病室で、夜暗くなると、「消灯しないで……怖い……」と涙ながらに訴え、周囲を困らせていました。死が怖かったのです。しかし、イエス様を信じて光を得、ニコニコマリちゃんと言われて天に帰りました。まさに

この証しです。

～祈り～

主よ。クリスマス・イブの日、特別に、あなたが「世の光」「いのちの光」であられることを覚えます。一人でも多くの人が、この光を自分のものとされるよう導いてください。

**【学びのために】**

ヨハネ 8・12「イエスは……言われた。『わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです』」。